

メール相談窓口

仕事や家計について、家庭内のトラブル、心や身体の健康に関すること、出産・育児について等…、あなたが毎日の生活の中で感じる不安や悩みをご相談ください。メールでご連絡いただければ専門のカウンセラーがお応えいたします。混み合っていたりする場合でも3日以内にご返答いたします。内容によっては関係機関と連携し、紹介や引継ぎなどの支援をするほか、ご希望の場所での対面相談も可能です。相談は無料です。

※相談は裏面のEメールアドレスへ。

義父母との関係で悩んでいる。

生活費に困っている。

不安を感じて体調不良が続いている。

家の中に居場所がない。

職場でのセクハラに悩んでいる。

夫の暴力に悩んでいる。

友だちがいない。

親の介護に疲れている。

たとえば、こんな悩みを抱えていませんか？

仕事の適性がわからない。

育児に疲れた。

治療費の問題があって病院に行けない。

学校に行きたくない。

離婚したいが言い出せない。

子どもの発育に不安を感じる。

将来に不安を感じる。

※個人情報や相談内容は保護されます。

訪問相談 & WORK SHOP

希望に応じて、グループや各種団体を対象に訪問相談を実施します。また、育児に関する悩み、お金の管理等、女性のためのワークショップを開催します。

産後の不安や育児についての相談会

女性のためのマネー講座

子どもの栄養講座

アレルギーを持つ子どものためのお菓子講座

情報交換のためのママカフェ 等

※詳細は決まり次第、ウェブサイトや SNS 等でお知らせします。

生理用品の提供

相談支援の一環として、市内の各相談窓口で相談者へ生理用品の提供をいたします。

【設置場所】

北海道国際交流センター 元町 14-1 対応時間／月～金曜日 9:00～17:00(年末年始12/29～1/3・休日を除く)

函館市女性センター 東川町 11-12 対応時間／月～土曜日 9:00～21:00(年末年始12/29～1/3・休日を除く)

函館市役所本庁舎2階 子育て支援課内 東雲町 4-13 対応時間／月～金曜日 8:45～17:30(年末年始12/29～1/3・休日を除く)

函館市役所亀田支所内 美原 1-26-8 対応時間／月～金曜日 8:45～17:30(年末年始12/29～1/3・休日を除く)

母子家庭等就業・自立支援センター 若松町 35-16 対応時間／月～金曜日 9:00～21:00(年末年始・休日を除く)

ハローワーク函館 マザーズコーナー (函館市地方合同庁舎分庁舎) 新川町 26-6 対応時間／月～金曜日 8:30～17:15(年末年始12/29～1/3・休日を除く)

函館市総合福祉センター 社会福祉協議会 若松町 33-6 対応時間／月～金曜日 9:00～21:00(年末年始・休日を除く)

函館市地域包括支援センター(10箇所) 対応時間／月～金曜日(年末年始・休日を除く)

函館 YWCA 松陰町 1-12 対応時間／火～土曜日 10:00～16:00(年末年始・休日を除く)

講演会 & 個別相談

8月～2月、毎月様々なジャンルの専門家を招いて、「女性のための講演会」を開催します。当日は個別相談ブースも併設し、専門のカウンセラーが対応します。

【場所】

函館コミュニティプラザ G スクエア

函館市本町 24 番 1 号 シエスタハコダテ 4 階

【個別相談ブース】

各 14:30～17:00 (個別相談)

※専門の相談員が対応します。

※個人相談ブースでは、講師への相談は受け付けておりません。

あらかじめご了承ください。

※託児をご希望の方は申し込みの際にご連絡ください。

※カフェスペースを併設していますので、ごゆっくりお過ごしください。

※ピアサポートの実施も行っていきます。

講演会にはご予約が必要です。それぞれのQRコードよりお申し込みください。

9月16日(土) 13:00-14:30

15歳から24歳の女の子に寄り添う
～「わたカフェ」の取り組み～

福田 愛 (ふくだ・めぐみ)

国際 NGO プラン・インターナショナル
国内支援事業グループリーダー

PROFILE

●東京都出身。2012年から、更生保護施設で、少年院や刑務所を仮退院・仮出所した女性の自立支援に携わり、その後、虐待や養育困難な家庭へ介入、家庭の暴力から逃げる若年女性の支援などにかかわる。2020年から、公益財団法人プラン・インターナショナルに加入し、新事業である「女の子の居場所カフェ・わたカフェ」と「女の子のためのチャット相談」を開設し、運営に至っている。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持つ。



予約お申し込み
QRコード



11月18日(土) 13:00-14:30

災害時に備える女性の心得
～東日本大震災の経験から～

五十嵐ゆかり (いがらし・ゆかり)

聖路加国際大学大学院看護研究科
ウィメンズヘルス・助産学 教授、看護師、助産師

PROFILE

●岩手県花巻市出身。2011年東日本大震災後、岩手県陸前高田市において女性に対する支援活動を行った。防災めぐい「レディのココロエ」制作、「東京くらし防災」編集委員。ウィメンズヘルスを専門とし、女性の様々なライフステージにおける健康課題に取り組みとともに、災害時の女性視点の研修会を行っている。



予約お申し込み
QRコード



1月20日(土) 13:00-14:30

しんがき先生と学ぼう
『生理痛～更年期まで 女性の体に起こること』

新垣加奈 (しんがき・かな)

産婦人科医

PROFILE

●函館市出身。北海道大学医学部卒。診療の得意分野は思春期、更年期、生理の悩み、不妊症。「幸せな女性が増えれば世界はもっと平和になる」をモットーに、日々真摯に診療に取り組む。2024年4月、函館五稜郭町に自身のクリニックを開院予定。



予約お申し込み
QRコード



8月5日(土) 13:00-14:30

フードバンクが目指すもの
～食品ロスをなくし、食のセーフティネットを創る～

片岡有喜子 (かたおか・ゆきこ)

NPO 法人フードバンクイコロさっぽろ 理事長
北海道フードバンクネットワーク 代表

PROFILE

●十勝清水町生まれ。北海道拓殖銀行破綻の翌年に就職活動を行う(就職氷河期)。20代は非正規雇用や労働条件の厳しい中で働き、ワーキングプアの状態で過ごす。出産後は家族の障害が分かり、医療や福祉に支えられて育児を行う。40代になり、支えてもらった社会に恩返しをしたいという想いでフードバンクを設立した。支援に携わり、精神的なケアを目的に、精神保健福祉士の資格を取得する。



予約お申し込み
QRコード



10月14日(土) 13:00-14:30

あなたを守るための、
優しい法律相談

車福順 (ちや・ぼくすん)

山崎法律事務所 弁護士

PROFILE

●東京生まれ(在日韓国人)。経済学部に進むも、大学4年生のときに弁護士を目指す。司法試験合格後、初めて東京を離れ、函館で修習。弁護士になり、札幌で働いた後、2012年から函館に移住し弁護士を続ける。民事事件、刑事事件の他、DVが絡む離婚事件や函館道南SARTを含む犯罪被害者支援活動にも取り組む。



予約お申し込み
QRコード



12月16日(土) 13:00-14:30

女性が当たり前生きられ、
働ける北海道

菅原亜都子 (すがわら・あつこ)

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会/
札幌市男女共同参画センター 係長

PROFILE

●公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会/札幌市男女共同参画センター 係長札幌出身。2003年に財団に入職。6月に札幌市男女共同参画センターに配属され、今年で20年目。ジェンダー平等実現のために、ガラスの天井/ベタつく床の両方のアプローチを大切にしている。コロナ禍の2020年12月から始めた食料品や生理用品の配布を行うクラウディ・キッチンのはもうすぐ丸3年を迎える。



予約お申し込み
QRコード



2月17日(土) 13:00-15:00

映画上映会「駆け込み宿」Dorm

監督:蘇育賢(スー・ユージェン) 台湾/2021

舞台は台湾。過酷な環境で働く、ヴェトナム人女性労働者たち。

●台湾にあるヴェトナム人女性労働者が暮らす寮。二段ベッドがひしめき合い、プライベートもない狭い空間で多くの人が寝食をともにしている。服や物、スーツケースで埋め尽くされるこの異空間で彼女たちは、低賃金、過酷な労働、劣悪な生活環境について声をひそめながら語り合う。職場で受けたハラスメントやストライキのためのプラカードの準備など、実話に基づいた物語をパフォーマンスで再現し、やがてそれらは大きなうねりを起こす。

